

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000024"/>	整理番号 <input type="text" value="11248"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="標的遺伝子特異的ヒストン修飾制御剤"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="医薬品、実験試薬、幹細胞誘導"/>		
目 的	<input type="text" value="標的遺伝子の制御を自由に行うための、副作用の少ないヒストン修飾制御剤と、標的遺伝子の調節領域を認識するポリアミドとの複合体を含む、標的遺伝子特異的ヒストン修飾制御剤の提供。"/>		
技術概要	<input type="text" value="従来のヒストン脱アセチル化酵素阻害剤(HDAC阻害剤)は、細胞中でランダムに働くため、目的の遺伝子をほとんど発現させることができなかつたり、目的以外の遺伝子の発現の方をより促してしまつたりするという問題があつた。本発明は、ヒストン修飾制御剤と標的遺伝子の調節領域を認識するポリアミドとの複合体を合成できたこと、この複合体が標的遺伝子の発現に関与するヒストンの修飾にゲノム上の部位特異的に作用し標的遺伝子の発現を調節したこと等の知見から完成された。例えば、癌抑制遺伝子p16の調節領域を認識するポリアミドにヒドロキサム酸誘導体を結合した化合物が、癌細胞においてp16遺伝子の発現を促すこと、および癌細胞の増殖抑制効果があること等が認められた。本発明は、ヒストン修飾の変化による遺伝子制御のメカニズムを解明できる手段として使用できるとともに、ヒストン修飾の変化が病気や細胞運命にかかわることより、癌を含む難治疾患病気の治療や幹細胞の樹立等への応用も考えられる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp